



青年部では、9月7日にもち米の刈取りを行った。

5月に植えたもち米は、出穂前に稲が一部倒れてしまう状態が確認されたことや雑草が生い茂る等のアクシデントがあったが、その後は問題なく生育し、当日には綺麗な黄金色になっていた。

それを見た役員らは「植えた当初は生育が心配だったけど、排水を良くするために行った溝切りや



黄金色に色付いた稲穂が部員の目を引き付けた

水抜きを例年よりも早く行つたなど話し合つて決めた事が功を奏した」と話した。

作業は畦畔の草刈り班と波板外し班などに分かれて行われ、その後メインイベントの稲刈りが行われた。

稲刈りは例年通りのコンバインで刈取り、用意したフレコンバックに籾を降ろした。まだ詳しい量は分からないが、昨年よりも少ない収穫量であった。穂を見た限りでは今年も収量がありそうと意気込んでいた部員らは、稲刈を終えてみて驚いた表情を見せていた。

作業を終えて宮川貢彦青年部長は「収量が若干少ないものの、無事収穫を終えることが出来た。今年こそは相馬ごども園の餅つき大会も行いたいし、多くの地域の人達に自分たちのもち米を食べてもらいたい。そのためにも今後の出荷までしっかりと管理していきたい」と意気込んでいた。

今年も青年部のもち米販売します!!



今年の青年部のもち米も立派に育ちました。
今年も予約を承ります。
通常販売よりも単価はお安くなっております。
詳細は後日お知らせ致します。



いきいき女性部通信

事務局 桑田歩



女性部では、8/20(金)西目

屋村にあるBUNACO(ブナコ)西目屋工場へブナコ制作体験に行ってきました。西目屋工場は、旧西目屋小学校をリノベーションして2017年4月にオープンした所です。

ブナコは青森県の豊富なブナ資源を有効活用するために生まれた木工品で、昔、ブナは使えない木と言われていたそうです。漢字にすると『榦』と書くほど。ですが逆に水分が多いので粘り強い・弾力性がある・曲げに強いという特徴を活かし、ブナを約1mmの厚さにスライスし、テープ状にカットしたものを巻き重ねて成型していくという、世界的にみても他にないユニークな製法で作られていることがわかり、ワクワクドキドキしながら、各々、思い思いの形に作りあげていました。

今回制作したブナコは、食器として使用できるように、何層にもコー



熱心に講師の指導を受ける田沢真由美部長



お椀を使い湾曲を創る



下書きでは間違いなかったのに…

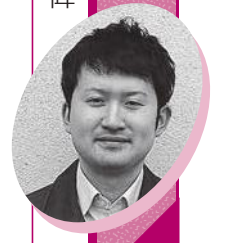
ディングし、3週間ほどで出来上がりました。
仕上がりをお届けして皆さんに喜んでいただけただけのほか、自分で制作したブナコの底に日付けや名前など、思い思いに手書きをしたのですが、ある方からは、今年3人の娘が同時に出産ラッシュを迎え、孫の名前と制作日を記念で書いたら、『孫の名前も漢字も西暦を間違えている！』と娘からダメ出しのメッセージが…
それも良い思い出となったことでしょう。



完成したブナコを手に記念撮影

果実販売動向

販売課 田中瑠偉



毎日の農作業お疲れ様です。

9月の果実動向は数量減の単価高で推移しました。ブドウについては、シャインマスカット・巨峰中心の販売のなかで、売場が広く確保されていることから全般に引き合いの強い状況が続き、特に黒系ぶどうについては、雨の影響による裂果等により総体量が少なく高値基調の販売となりました。

梨についても、総体量が少ないことから高値基調で推移していましたが、これまでの高値の反動により荷動きが鈍化し、入荷量が減少するもの大玉中心に価格は下げ基調での推移となりました。

桃については青森県産川中島白桃が終盤を迎え、入荷の減少とともに売り場の縮小が進みましたが、売場維持に向けた安定した引き合いや、中秋節需要から大玉を中心に堅調な販売となりました。

ミカンについては、極早生みかんがスタートし、潤沢な入荷から

量販店中心に売り場拡大が進められ、概ね高値基調で推移しました。

一方、野菜については、北海道は初夏の干ばつ、西日本中心に長雨と日照不足による影響から生育不良や病害虫が多発し、入荷量が激減したことから、価格は軒並み上昇しました。

りんごについては、4月の凍霜害等の影響により総体量が少ない見込みで、サンつがるについては他県産が早めに切り上がったことや、値ごろ価格での販売企画でスタートしたことから売場拡大がすすめられ、引き合いの強い状況となりました。産地市場では9月2週目から品薄傾向となり、近年にはない尻上がりとなりました。

トキ、早生ふじについては、未熟果の流通を抑制するために3週目からの取り扱いとなりましたが、堅調価格で推移しました。

りんごの動向は昨年とは正反対となっております。当JAでは9月

末より台湾向けのトキが順調にスタートしています。

香港向けについては、8月末から出荷されたきおうにビターピット等が多発し、流通が滞っていることから、10月からのスタートとなります。

今後、早生ふじ系を中心にピークを迎えますが、総体量が少ないことや、他県産の切り上がりが早く、売場も確保されていることから、概ね保合いでの推移が予想されます。2021年産りんごは全国的に減収との予想から、下位等級品まで企画販売に取り組むことにより相場の底上げを図ります。



早生ふじの選果が終盤を迎えている

品 種	サンつがる	早生ふじ	トキ	きおう	その他	合 計
単 価 (円)	2,797	4,059	2,956	2,677	2,758	2,792
前 年 比 (%)	92	—	—	88	79	91
数 量 (箱/10kg)	751,587	9,141	10,847	137,097	47,974	956,646
前 年 比 (%)	116	—	—	87	92	111

直売所「林檎の森」

直売所 三上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。たくさんのお客様で賑わっていた「嶽きみ」の販売も終了しました。一方で、直売所には秋の味覚がたくさん出るようになりました。栗やサモダシ、マイタケ、ハタケシメジ等この時期に大人気の商品ばかりです。

その他、果物だとラフランスや、ゼネラルレクラーク、日面紅などの洋ナシや豊水や南水、長十郎などの和梨、巨峰、スチューベン、シャインマスカットなどのブドウ等多くの種類の果物が入荷しています。野菜についてはかぼちゃが沢山出ています。栗力ポチャや坊ちゃん力ポチャ、白色の力ポチャなど様々な力ポチャがでてきます。

10月に入りだいぶ寒くなってきました。体調管理にニンニクや緑黄色野菜の人参、カボチャ、ナンバなどが良いでしょうか？

ほかに大根やキャベツ、白菜

なども出てくる予定です。是非お立ち寄りの際には、お問い合わせください。スタッフ一同お待ちしております。

「林檎の森」からのお願い

会員の皆様にお願いがあります。特に梨やリンゴといった果物に多いのですが、一度の出荷で大量に持ってきましてしまうと陳列棚にたくさんもりあがってしまい古いもの下になったり押しつぶされたりして腐敗しているものも多く見受けられます。出荷の際に出す量も考えて出荷していただけると助かります。そのほかに古くなったものや痛みや腐敗のあるものは徹底して引き取りをお願いします。

※会員のほうで引き取りがない場合、通知せずにこちらで処分させていただきます。



様々な加工方法がある山ぶどう



珍しい旬のカボチャが並ぶ



栄養素が豊富な森の幸とも言われるキノコ

食欲の秋を彩るスーパーフード
10月はキノコが一番消費される月とされています。旬であると共に、食物繊維やミネラル、ビタミンが豊富で、冷凍や乾燥をする事で旨みや栄養素を増やすことも出来ます。人間にとってもスーパーフードですが、落ち葉や倒木を分解するなど、地球にとっても優しい種類のキノコがあります。今が旬のキノコを是非ご賞味して楽しんでみてください。



○りんご作業（10／15～11／15）

りんごの作業では、中生種の収穫や晩生種の着色管理が最盛期となっています。

収穫が早すぎると貯蔵中のビターピットの発生が多くなり、遅すぎると油上がりや果肉の軟化の原因となります。地色の抜け具合を確認し適期収穫に努めましょう。

収穫時期に悩んだ場合には、農業振興課に相談いただければ調査に伺います。

収穫した果実は、鮮度保持のために、できる限りその日のうちにJAへの入庫をお願いします。また、りんごの盗難が多くなる時期となりますので、園地での野積みは絶対にやめましょう。

○積雪前の野ネズミ対策

例年、冬の根雪の期間に野ネズミの被害に悩まれている方も多いかと思います。そこで今回は雪が降り始める前の耕種的防除を紹介

紹介します。

●野ネズミ被害を受けやすい園地の特徴としては、園地が汚れていることが挙げられます。特に野菜などの畑作物を作付している所では、それらの残さをきれいに片づけ清耕にするようにしましょう。

また、草生、敷草等を行っている場合は、野ネズミが巣を作りやすいので、積雪前に幹の周囲を清耕にして野ネズミの巣を壊す又は、巣を作るのを防ぎましょう。

●樹幹に対する野ネズミの被害は、成木よりも若木に多く、苗木及び若木に晩秋に地上1m位の高さまで（積雪の多いところでは更に上まで）樹幹に割竹、杉葉、金網、肥料等の空袋、合成樹脂のプロテクターなどの被覆材料を巻きつけましょう。

○効果的な殺そ剤の使用法

殺そ剤は、園地が隣接する農家と共同で広範囲にわたって一斉に実施する事でより効果的に被害軽減が可能です。また、野ネズミの穴や通路穴に殺そ剤を投入する際には、土手や園内など雑草が茂っているところを重点的に行いましょう。

○忌避剤による対策

樹冠下への処理アンレスは10倍液を樹冠部に塗布または散布しましょう。

▽苗木を植えた園地や、例年野ネズミの被害に悩まされている方は積極的に耕種的防除を行い被害軽減に努めましょう。

※今後は、本格的に収穫作業が忙しくなります。朝晩は冷え込みますので体調管理にも十分注意しましょう。ハシゴや機械を使った作業を行う際は、機械点検や身の回りの安全を確認したうえで作業を行い事故防止を心がけましょう

JAで取り扱っている資材

商品名	特徴	価格
ヤソチオン (5g×100袋入り)	小袋詰めをソ穴に投入するか、野ソの通路に設置する。	682円
ZP (1kg入り)	10aあたり10~40か所に適宜配置する。	1,100円
粉末ラテミン	穀粉、ドックフードなどにまぶし、10aあたり250~750gの割合で、ネズミ穴や通路に投入。または、適宜配置する。	1,133円